

新型コロナウイルス感染症対応女性相談支援事業【愛媛県】

地域の実情と課題

新型コロナウイルスの影響が長引く中、特に女性に対して、就業から生活面において、様々な形で深刻な影響を及ぼしている。本県でも、DV及び性暴力の相談件数が増加しており、様々な不安を抱える女性が潜在化していることが懸念される。

事業の特徴

メール等相談・出張相談による相談窓口の拡充やSNS等を活用した周知・相談時の衛生用品等の提供を通して、支援を必要とする人を専門窓口につなげ、確実な支援を行うほか、官民連携した相談体制の構築と相談員等の人材育成を一体的に実施。

事業の効果

メール等相談・出張相談（R3.9～R4.3）での相談件数は445件で、相談内容はコロナ禍での生活の変化によるものが多い。

民間団体ならではの気軽な相談機会の創出や機動力を生かした出張相談により、新たな相談の掘り起こしにもつながっている。

目的・目標

■女性相談件数

目標 2,000件 → 達成 (2,541件)

※うち、メール等相談・出張相談 445件

■出張相談回数

目標 東・中・南予 各1回 → 達成 (41回)

NPO団体の活動場所(子ども食堂) 等で実施

連携団体

■関係機関連携会議

女性支援の取組み等を共有するため開催

【参加機関】

NPO団体、県男女共同参画センター、市町、愛媛労働局、ハローワーク松山、県関係課 等

今後の課題

相談窓口の情報をまとめた冊子を作成し、専門相談窓口の周知を図っているところであるが、支援を必要とする女性の潜在化が引き続き懸念されることから、専門窓口へ自ら相談でき、解決につながる人の増加に向け、今後も周知の取組みを推進していく。

◆相談体制の拡充・相談窓口の周知

「ひめはぴサポートプロジェクト」と命名し、ロゴを作成して実施。
メール等相談・出張相談による相談体制の拡充を行うとともに、周知用カードやSNS等による情報発信を実施。

また、相談の際に必要なに応じて衛生用品等を提供し、提供を契機として、支援を必要とする女性の相談を促進。

■相談窓口開設（ひめはぴ相談）

相談員 2名による相談 月～土曜 8時～17時
(R3年9月～R4年3月) 相談件数 計445件

■出張相談

NPO活動（子ども食堂、地域イベント）等で41回開催

■相談窓口案内カード 8,500部

■相談窓口紹介冊子「えひめの女性のための相談窓口」 3,000部

■衛生用品等（ひめはぴセット）の提供 6,000セット

◆相談員の養成

相談員等の人材養成に向けて、研修を計4回実施。

■相談支援員スキルアップ研修：10月（2回）

（内容）傾聴について、女性相談の傾向 等

■SNS相談員養成講座：11月（2回）

◆関係機関との連携強化

公的相談窓口等関係機関との連携会議を開催し、女性支援の取組み等について情報共有を実施。

■関係機関（男女共同参画センター、県関係課、NPO団体等）：10月、3月

■地域向け（男女共同参画センター、市町、NPO団体等）：2月



令和3年度 愛媛県委託事業 女性相談支援事業

相談窓口紹介冊子



生理用品、マスク、
消毒液などを
「ひめはぴセット」
として提供